

AJU



ラルシュかなの家便り



AJU
ラルシュかなの家便り

No.288

2021 はる号

2021/04/06



発行：社会福祉法人 ラルシュかなの家

〒421-2114 静岡市葵区安倍口新田65-5

TEL : 054-206-0830 FAX : 054-294-8070

E-mail : larchekana@s9.dion.ne.jp HP : <https://larchejapankana.localinfo.jp/>

ブログ : larchekananoie.blog.fc2.com



振り込み口座 : 00820-4-153325 ラルシュかなの家 (ご寄付用の振込)

かなの家の畑

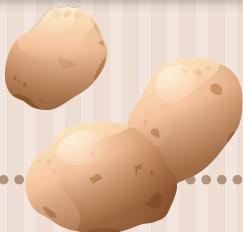


冬の間、畑の作業はあまり無く、2月に入ってジャガイモを植える作業が始まります。ひと月前の1月に石灰と堆肥を畑に撒いて、耕運機で耕します。一週間前に溝を掘って、堆肥と化成肥料を入れて土を山盛りに戻して「うね」を作ります。かなの家のジャガイモ作りでは、うねの上にマルチという黒いビニールシートを掛けてジャガイモを植えます。種芋をDIYショップで買ってきてなかまが植付けをします。6月には収穫が出来るようになると思います。

私は去年から畑の担当になり、分からぬことだけですが、前任者から電話でどうやるのかを聞きながらの作業で、間違ったやり方をするとベテランのなかまから怒られながらやっています。なかまに助けられてここまで、いろいろな作物を作ることが出来て本当に感謝しています。これからも、かなの家のなかまと作った野菜作りを紹介していくらとおもいます。



ゆたか



根気強さ

杉山なつみ(すぎやま なつみ)さん、笑顔あふれるかなの家めぐみ(生活介護)のメンバーです!!ダンス大好きななつみさん、内職作業にも積極的、静岡市内にある聖隸健康サポートセンターShizuoka(かなの家のアシスタントもこちらで健康診断を受けさせていただいている。)からいただいている内職(検尿検査キットの作成)も大好きです。

私(筆者)がかなの家に来た5年前には、検尿検査キットの袋に紙コップ(写真①右下が紙コップ)を入れるだけがなつみさんの仕事でした。それも時折、紙コップを2枚3枚と重ねて余分に入れてしまうでした。

それから月日が経ち、練習と本番を繰り返すこと5年、今年も健康診断シーズンとなり検尿検査キットの作成依頼がきました。ひとり黙々と“根気強く”積み重ねてきた練習の成果が試される時です。

検尿検査キットの作成手順は、ジッパー式ビニル袋(写真①左下)の口を開き、検尿検査キット仕様説明の紙片(写真①中下)と紙コップを入れ、最後に検尿容器を入れて袋のジッパーを閉じると完成です。

なつみさんは恐る恐るジッパー式ビニル袋の口を開き、使用説明の紙片を入れ、最後に紙コップを1枚確実にセットして、真剣なまなざしとあふれる笑顔を繰



り返しながら、自分の担当作業を1セットずつ着実に完成させていきました。その後、検尿容器をセットして袋の口を閉じる工程がありますが、それはこれからなつみさんに期待したいと思っています。その後、かなの家のメンバーで完成させた検尿検査キットを何人かのなかまと聖隸健康サポートセンターShizuokaに届けに行きました。無事に渡し終えて検尿検査キットの内職作業は終了しました。

なつみさんの根気強さと明るさが、内職作業のほかアート活動、ダンスなどのかなの家の様々な活動で發揮されている現在を見てとても嬉しく思っています。

湯浅 隆昌(ゆあさ たかまさ)

・ 杉山 なつみ (すぎやま なつみ)

賜	物	發	見	No.1
---	---	---	---	------

足付神社の 隠された神話を探る

(静岡市葵区足久保奥組)

ラルシュかなの家は静岡にあります。

山が近くにあり、安倍川が流れる自然豊かな場所です。

そんなアベオク(安倍奥)と呼ばれるこの地域とのご縁を育てたいと考えています。

そこで、かなの家が地元を訪問していく記事を皆様にご紹介いたします!

2021年1月、ラルシュかなの家すまいのなかまと初詣に行きました。

場所はかなの家が始まった足久保にある神社「足付神社」です。

訪れた人を静けさへといざなう、ひっそりとしたたずまい。

祀られている神様は蛭子大神。

蛭子(ヒルコ)は、『古事記』において国産みの際、イザナキとイザナミとの間に生まれた最初の子なのですが、不具のため葦の船で流されてしまい、子として数えられませんでした。

ところが、後に蛭子(ヒルコ)は蛭子(エビス)「福の神」として帰ってきます。

また、足付神社を葦付神社と記されていることもあります。まるで葦の船がこの足久保にたどり付いたような…。

始まりは優生思想を思わせ、のちに福の神へと変容するこの神話を知ったときは驚きました。

聖書の物語には、盲目の人を見た弟子がイエスに質問する場面があります。

「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか？この人ですか。その両親ですか？」

イエスの答えは「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです」

障がい・弱さに対しての最初の反応と、そうではなく「福の神」「神のわざ」と伝える神秘。

優生思想についての隠された神話を、足付神社で発見することができました。

「障がい」と「福」がつながっているという神話の続きを未来へと語り継げますように！

私たちが今をどのように生きていくかにかかっていると思います。どうぞ、ラルシュかなの家をお支えください。



(言)



ウチナルコエ

伊
穂
純



No.1 梶田穂純さんが描かれた書です。

ますだ ほづみ

梶田
穂純

伊藤さんの窓ガラスアート



伊藤さんは午後の時間になると、窓ガラスに向かっています。何を描いているのか覗いてみました。そこには、伊藤さんがたまに口にする「謎」という言葉から始ま「謎の音子」という名前がありました。「男」と書かずに「音子」と書くのが、とてもユニークです。他には、大好きなドリフのメンバーの名前も書かれていて、「志村軒」「志村券」「志村拳」と書いてあります。私は、漢字が苦手です。正しく書けないと恥をかくから

です。ですが、伊藤さんは正しい漢字を書くことよりも、文字の組み合わせることを楽しんでいるように感じます。伊藤さんが描く文字は共通して「好きなもの」が描かれている気がします。伊藤さんのセンスは絶妙です。皆さんもかなの家に遊びに来た際は、ぜひめぐみの作業室のガラス窓を見てみてください。きっと伊藤さんワールドが広がっています。

ぱぴよんすずき



粉石けん3キロの 新しいパッケージを紹介します

●粉せっけん無香料…970円 ●粉せっけん香…1,060円

(毎週火曜日)発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会 名古屋市中央区丸の内3-6-43 みこじらセントラル4F 定価100円



なかまがパッケージに直接描いてデザインしています！



～私たちは自然に生きるありのままの命を大切にしています～

なかまが創る作品は、様々な形で皆様に発信していきたいと考えています。「ひとつひとつ形や色が違うこと」、個性は大きな豊かさとして表現していく素晴らしさを広めていきたいと思います。なかまが直接パッケージに絵を描いているので、ひとつとして同じデザインが存在しません。お店でお買いお求めの際は、お気に入りの一点を取り、また発送所からお買いお求めの際は、どんなパッケージが届くのかワクワクしてお持ちいただけると幸いです。絵を気に入ってくれる皆様から、心温まるメッセージをいただき、なかまたちの活力と意欲に繋がっています。ネットショップ、お手紙、ファックス、郵便振り込み用紙から沢山のメッセージをありがとうございます。

せっけんのご注文は、ネットショップ、電話、FAXで受け付けております。

社会福祉法人ラルシュかなの家 かなせっけん発送所

〒421-2114静岡市葵区安倍口新田534-3 TEL.054-296-1116 FAX.054-296-6433

HP <https://larchejapan.localinfo.jp/> ONLINE SHOP <http://kananoie.shop-pro.jp/>

かなせっけん注文書御入用の方はご連絡ください。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

(福) ラルシュかなの家は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。